

附属幼稚園5歳児による

はじめての日本画展

8/7
[木] \ 8/13
2025 [水]

10:00-21:00 (最終日は 17:00 まで)

10日(日)と13日(水)にワークショップを行います。(裏面下部に記載)

場所: イオンモール高知2階南スペース (トイザらス前)

主催: 高知大学大学院 総合人間自然科学研究科 スポーツ・芸術文化共創専攻

展覧会について

日本画絵具は自然物から作られており、その色の美しさや粒子感、煌めきが魅力の一つです。幼児が日本画を描くことで、身近な環境に興味や関心を持ち、感覚が発達するなど、たくさんの良い影響があるのではないかと考えました。また、日本画は西洋画に比べ、教科書に掲載されている分量が少ないことや、描いたことはもちろん、実際に観たことがある人が少ないことが分かっています。

そのため本展示は、幼児期から日本画に触れることで、日本画に親しみをもつ子どもたちが増えてほしいという思いや、たくさんの人が本展示を観て日本画に興味をもってほしいという願いのもと、企画しました。



日本画について

現在の日本画は、千数百年前に中国大陆や朝鮮半島から伝えられた技法、素材が、各時代の政治経済、社会情勢などの変動を乗り越えて、途絶えることなく今日に受け継がれている、世界に類を見ない長い伝統を誇る絵画様式です。日本画という名称は、明治期に入り盛んに導入された西洋画に対してつけられたもので、その後さまざまな影響を受けながらも独自の発展をしたため、現在ではその名称は技法全体を指すものではありません。そのため、日本画を定義することは難しく、ここでは自然物から作られた絵具を接着剤と混ぜ、描いた絵のことを日本画と呼ぶことにしました。

また、日本画で一般的に用いられている道具や絵具のなかにはガラス製品や毒素が含まれるもの等危険なものもありますが、今回は5歳児が日本画を描くということで、それらを使用せず安全に活動が行えるよう、日本画を可能な限り幼児向けに落とし込んで実施しました。イオンモール高知で行う2日間のワークショップでも、安全に行えるよう配慮しておりますので、ぜひお気軽にご参加ください。



高知大学教育学部附属幼稚園について

高知大学教育学部附属幼稚園は、「よく考えて行動する子ども」という保育目標を掲げ、高知県内における幼児教育の先駆けとして、創立77周年を迎えた今も教育研究に励んでいます。約7,800平方メートルの広い園庭は、四季を通して花や草木が育ち、築山や大小の砂場、総合遊具など、子どもたち自らのびのびと遊ぶことができる恵まれた環境となっています。

また、幼児ならではの豊かな感性がひらく幼児期に、高知大学の幼児教育や美術教育、音楽教育、教育科学、理科科学を専門とする先生方とともに、子どもたちの豊かな感性を引き出すための独自のプログラムを開発・実践しています。こうした多彩なプログラムは、高知大学の教育研究の成果を活かした実践的な遊びの中の学びであり、附属幼稚園だからこそ実現できるものです。こうして附属幼稚園の子どもたちは、恵まれた環境の中で展開される日々の遊びや活動の中で、自ら考え、感じ、表現することを通して、未来をたくましく生きる力を育んでいます。

〇ワークショップについて

日時：10日（日）と13日（水）の13:00-17:00

定員：1日20名程度 **参加費：無料**

*お申込受付は先着順とし、定員または材料がなくなり次第締め切らせていただきます。

*スペースの関係から一度に8名程度までの制作とさせていただきます。

▼スポーツ・芸術
文化共創専攻 HP



▼附属幼稚園 HP



▼附属幼稚園
Instagram

